

佐賀県立宇宙科学館 《ゆめぎんが》

宇宙発見ゾーン全面リニューアル 宇宙を体感！遊んで学べる展示ゾーンへ！



2024年3月23日（土）グランドオープン！

リニューアルコンセプト

「宇宙へのはるかな旅～宇宙と人類の壮大なドラマ～」

宇宙には星の数だけわくわくがあふれている。
宇宙はナゾだらけ。
いつからある？どこまである？なにがある？
そのヒントをここで見つけてほしい。

リニューアルのポイント

“まるで宇宙にいるみたい!?”

空間全体で宇宙を表現

空間上部にまたたく光を、ひとつひとつの銀河に見立て、床面には宇宙の泡構造と138億年の時空を表現。

まるで宇宙にいるかのような、宇宙の一員であることを感じられる演出です。

“もっと知りたい！興味関心を喚起”

ダイナミックな体験を

驚きを伴う感動体験は、「もっと知りたい」「もっと見たい」につながる入口。「グラヴィティ ジャンプ」「スペースタイム アドベンチャー」など、宇宙科学館だからこそそのダイナミックな体験や、JAXAで現在開発中の新型宇宙ステーション補給機(HTV-XG)を管制官になりきって操縦できる「HTV-XG ミッションコントロールセンター」もおすすめ。

“わたしたちは どこから生まれた?”

ストーリー性のある展示

ゾーンは、5つのMISSIONで構成。一歩足を踏み入るとそこは、宇宙を知る旅のはじまり。

ストーリー性のある展示で、宇宙の壮大さ、宇宙とのつながりを体感。

“最新の宇宙科学に基づく展示”

新時代を生きるこどもたちへ

宇宙開発の技術は、日々進化を重ね、月・火星探査と宇宙を活用する時代へ。近未来を思わせる空間で、宇宙に目を向け、生命のルーツをたどり、「宇宙から地球・佐賀を発見する」「佐賀から地球・宇宙を発見する」。

わたしたちが、宇宙の中の一つの存在であることを感じる時間を供します。



(上段) リニューアル前 (下段) リニューアル工事後

MISSION1 宇宙を知る旅へ出発せよ！

宇宙の誕生と 138 億年の進化をたどる” 時間の旅” を体感しよう。

▶スペースタイムアドベンチャー

大きな円形シアターの中で、宇宙のはじまりからファーストスターや銀河、さらに生命の誕生まで、迫力の大画面で体感できます。



▶プラネッツホッパー

太陽を目指して惑星間をホッピングしながら、太陽系惑星について楽しく学ぶことができます。



MISSION2 いのちの起源を探索せよ！

わたしたちは、どこから生まれてきたのか。画面に触れて、宇宙とのつながりを感じてみよう。

▼宇宙のカケラとわたし



宇宙とつながる不思議なデジタルインスタレーション展示。宇宙とわたしたちのつながりを体感できます。

▼ギベオン隕石



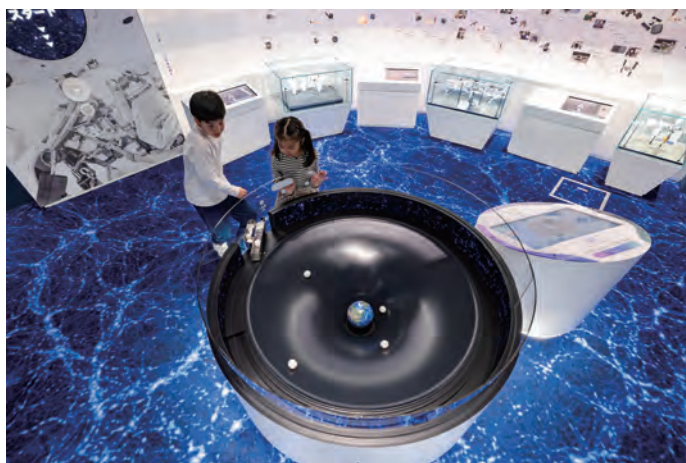
重さ 200kg のギベオン隕石。地球の外からやってきた実物の隕石に、実際に触れることができます。

MISSION 3 宇宙への挑戦を追え！

ロケットや人工衛星について学ぼう！そして時代は、月・火星探査へ。
月・火星・冥王星の重力ジャンプ体験も。

▼トリスペーステクノロジー

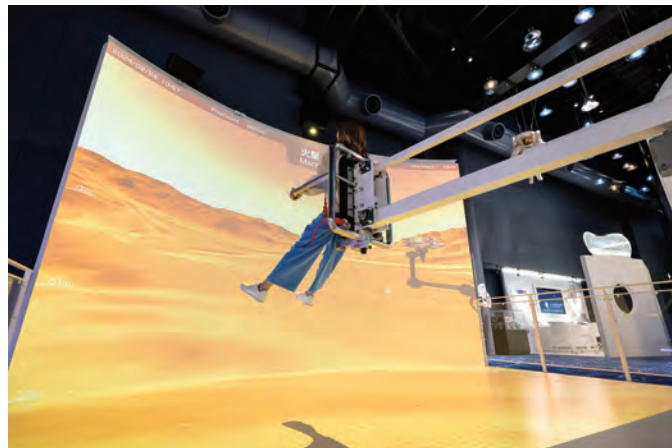
ロケットや人工衛星の原理や仕組みを、実験装置を使って体験し、解説モニターでより詳しく知ることができます。



▶グラヴィティ ジャンプ

リニューアル前にあった月（1/6G）に加えて、新しく火星（1/3G）、冥王星（1/16G）の重力の違いもジャンプで体感！目の前に広がる映像と床面映像がジャンプ装置と連動し、臨場感あふれる体験を演出。宇宙飛行士気分を味わうことができます。

※身長 130cm 以上・体重 80kg 以下



▶ローンチザロケット

リズムに合わせてダッシュ&ジャンプ！パワーをためて月、地球、木星からロケット発射に挑戦。子供から大人まで楽しめるリズムアクションゲームです。



MISSION4 宇宙の任務に挑戦せよ！

▼アルテミスプログラム

HTV-XG ミッションコントロールセンター

現在、開発中の新型物資補給機（HTV-XG）の管制官になりきって、ゲートウェイにドッキング。協力して、月に物資を運ぼう。

※同時体験は4人まで

※EASYモード、HARDモードから選択できます。



MISSION5 宇宙の絶景を体感せよ！

▼宇宙絶景旅

地球から太陽系、何光年も離れた銀河まで、ジェームス・ウェーブ宇宙望遠鏡、ハッブル宇宙望遠鏡などの最新の観測データをもとに製作した宇宙の絶景を堪能する鑑賞型コンテンツ。まるで未来の宇宙船から絶景をながめている気分を味わうことができます。



情報提供

▼情報コーナー

- ・みんなのギモンコーナー
- ・JAXA コーナー
- ・天文情報掲示板 等



▼英語での解説

パネルのQRコードを、お客様のスマートフォン等で読み込むと、英語による解説が表示されます。



1F・2F 地球発見ゾーン

多種多様な生命に満ちた「奇跡の惑星」について、体験しながら学べるゾーンです。重力や水、大気や磁力など、普段の生活では意識しないけれど、身の回りにある科学に注目して、地球について知ることができます。



▲スペースサイクリング (写真左上)

地球の重力を利用して、高さ 4.5m と 1.3m に張られたロープの上を自転車で渡ります。
・体重 80kg 以下 ・身長 120cm 以上 (1 階) ・身長 130cm 以上 (2 階)

▼実験ショー・ワークショップ



実験ワークショップ「スライムをつくろう」「発砲入浴剤をつくろう」や、工作ワークショップ「ビーコロコースター」なども人気。画像は、実験ショーの様子。

1F 佐賀発見ゾーン

地球の歴史と生命の進化をはじめ、佐賀県の大地の成り立ちや、多様な自然環境と生き物について学べるゾーンです。

佐賀県産出の鉱物や、佐賀県の水辺の生き物を集めた《ゆめぎんが》アクアリウムなど、佐賀県の自然の魅力にふれることができます。



▲佐賀県の自然の魅力をつめこんだゾーン

▼人気のワークショップ



【エサやり体験】

佐賀の川にすむ魚たちにエサをあげてみよう。魚についての解説も行います。



【いきものトークショー】

スタッフが得意とする分野をテーマに、佐賀の自然やいきものたちの魅力を紹介します。

プラネタリウム

驚くほど自然でリアルな星空と迫力の映像空間を体感できます。

1日に、4～5回上映。

スタッフによる星空の生解説のほか、宇宙や天文をテーマにしたオリジナル番組や、スタッフによる星空の解説を楽しむことができます。土曜日18時からは、サタデーナイトプラネタリウムも。

- ドーム式直径：18m（水平式）
- 座席数：200
- GEMINISTARⅢゆめぎんが
光学式投映機 InfiniumⅡ
デジタル投映機 Media Globe Σ SE2.4KSEL
Dynavision4K



天文台

太陽や夜空に輝く天体を観望します。

季節や時間帯によって楽しめる星はさまざま。ほんものの宇宙をのぞいてみましょう。昼間の太陽や青空に輝く惑星や一等星の観望や、天候の良好な土曜日夜の天体観望会もおすすめです。

- 主望遠鏡 20cm 屈折式望遠鏡（ドイツ式赤道儀）
- スリット開閉式 6m ドーム



企画展

常設展示の理解をさらに深める情報や時事テーマを取り上げ、スタッフが専門性を発揮し、年に3回程、科学の面白さや・不思議さ、ものづくりの楽しさを伝える企画展を開催しています。



(左) 2024 春の企画展「ビーコロ×スイッチ展」

(右) 2023 夏の企画展「ウーたんゲームス～宇宙編～」

佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》概要



【概要】

佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》は、「宇宙から地球・佐賀を発見する。佐賀から地球・佐賀を発見する。」をテーマに、科学を面白く楽しく体験できる施設として、1999年7月に開館しました。

「宇宙発見ゾーン」「地球発見ゾーン」「佐賀発見ゾーン」の3つの常設展示ゾーンと「プラネタリウム」「天文台」で構成されています。

宇宙や地球、自然の奥深さ、わたしたちとのつながり。

参加体験型の展示を通して、観て触れて体験することで、感じてください。

【佐賀県立宇宙科学館】

名 称：佐賀県立宇宙科学館《ゆめぎんが》

所在地：佐賀県武雄市武雄町永島 16351

館 長：鈴木明子

開 館：1999年7月8日

公式HP：<https://www.yumeginga.jp>

【愛称について】

1999年3月、「ゆめぎんが」に愛称決定。

佐賀県教育委員会が全国に公募し、「子どもたちに、科学への夢とロマンを育む科学館のイメージにぴったり」として、応募総数1,757点の中から選ばれました。

【来館者について】

佐賀県内、福岡県、長崎県といった近隣県はもとより、九州・広くは全国、海外からもたくさんの方にご来館いただいています。

年齢層も幅広く、幼稚園・保育園児・小学生・中学生から大人・シニアまで、老若男女の様々な方々が訪れています。

ちいさなお子様連れのファミリー層、カップル、友人や3世代での旅行客など、個人での来館のほかに、修学旅行などの学校団体、社会福祉団体等での来館も多くあります。

近隣温泉や観光施設とあわせて、多くの方にご利用いただいています。

【年間入館者数】

平成 30 年度：282,972 人

平成 31 年度：256,953 人

令和 2 年度：87,382 人

令和 3 年度：119,409 人

令和 4 年度：166,138 人

令和 5 年度：184,344 人（令和6年3月17日現在）

【開館以来の総入館者数】

5,530,182 人（令和6年3月17日現在）

沿革

【沿革】

平成 11 年 7 月 8 日 開館

平成 14 年 10 月 30 日 入館者数 100 万人

平成 19 年 7 月 14 日 入館者数 200 万人

平成 21 年 7 月 8 日 開館 10 周年

平成 23 年 11 月 26 日 入館者数 300 万人

平成 24 年 3 月 24 日 プラネタリウム・リニューアルオープン

平成 27 年 7 月 11 日 地球発見ゾーン他・リニューアルオープン

平成 28 年 8 月 12 日 入館者数 400 万人

平成 30 年 7 月 14 日 入館者数 450 万人

平成 31 年 3 月 21 日 佐賀発見ゾーン・一部リニューアル

令和 元年 7 月 8 日 開館 20 周年

令和 2 年 9 月 16 日 入館者数 500 万人

令和 5 年 3 月 25 日 プラネタリウム・リニューアルオープン

令和 6 年 3 月 23 日 宇宙発見ゾーン・リニューアルオープン

令和 6 年 7 月 8 日 開館 25 周年

【お問い合わせ先】

佐賀県立宇宙科学館 広報グループ 伊藤・竹本・古川

〒843-0021 佐賀県武雄市武雄町永島 16351 TEL 0954-20-1666 FAX 0954-20-1620 E-Mail sssm@yumeginga.jp